

法友工体連

HOSEI NETWORK NEWS

発行所 法政大学学友会工体連
 発行人 菊池 貢一
 編集人 高津次朗・細淵祐二
 題字 青木 繁
 事務局 東京都豊島区南長崎1-18-11
 矢野椎名ビル101 〒171-0052
 (株)クロネ設計企画内
 TEL 03-3565-5885
 FAX 03-3565-5887

第12回＜工体連お祭り＞

どこまで続く工体連お祭り!!

道場に最後のお別れ

2007年6月30日(土)17:00より小金井校舎武道場にて＜工体連お祭り＞が開催され、100名以上のOB、OGが集まりました。

来賓として工学部学生委員会議長御法川学様、学生生活課課長森志朗様、学生生活課

主任杉田治夫様にご出席頂きました。ありがとうございました。

この会報が発行される頃には、小金井校舎再開発のため、武道場は姿形もなくなっていることと思います。

校歌の「若き我が命のかぎりここに捧げて ああ愛する

母校」の始まりがいいですね。法政大学に工学部が作られたとき、当時の総長は法政大学は法律学校なのに工学部などけしからんと大反対だったそうです。

しかし、今の小金井校舎再開発が法政大学の将来を担っ

ています。その中で文武両道の工体連は、一心不乱の精神の持ち主たちばかりです。

さらに工体連を盛り上げようと思い法政大学校歌三番(工体連編)を創りました。ここでは書ききれないので三面の道場の思い出をご覧ください。

(文責 お祭り担当 佐藤光男)



乾杯!



俺の名前だ!



法政お我が母校



懐かしい道場で

初代デザイン工学部長挨拶

日々のトレーニング

工学部が大幅な改組を行っています。まず、2007年に建築学科、都市環境デザイン工学科、システムデザイン学科がデザイン工学部と分離独立し市ヶ谷に移りました。2008年には残りの学科が理工学部と生命科学部の2学部としてスタートします。この改組により法政大学の理系学部は理工学部、生命科学部、情報科学部、デザイン工学部の4学部体制となります。

工体連は工学部学生を母体としての組織としてスタートしたと存じますが、これからはこの4学部の学生が母体になることと存じます。デザイン工学部の一教員として、デザイン工学部の希望者もよく工体

連に受け入れて下さいますようお願い致します。

さて、工体連で活躍された皆様は良くご存じのことと思いますが、毎日毎日ある程度の負荷をかけてトレーニングすると、運動機能が活性化され運動能力が高まります。逆にトレーニングを休むと忽ち筋肉が落ち、運動能力が下がってしまいます。高齢者が骨折し安静状態を続けると、それを境に2度と歩くことのできない寝たきり生活に入る例も、日々のトレーニングの大切さを意味します。

身体活動のみならず、頭脳活動も日々のトレーニングが必要なのは容易に類推されると存じます。毎日、新しいことを学び理解する、努力し難しい問

題を解決しようと頭を使うと機能が活性化され、能力が高まります。高齢者が百マス計算や文章の音読で認知症を予防することもこの一例だと存じます。

都会でのサラリーマン生活は定型仕事と運動不足で、新しいものへの知的チャレンジや、負荷をかけての身体トレーニングが不足、見えない形で我々の身体を蝕んでいる気がします。小生自身、そのことを反省し、週2回はジムでトレーニングし、月2冊は全く新しい分野の本を読むという目標を立てましたが、いつも目標達成出来ずにおります。

工体連の関係者の皆様は、この日々のトレーニングの重要性を、身をもって理解されていると存じます。このことが、学生時代に工体連で活躍された方が社会に出て大いに活躍さ



デザイン工学部長

小林 尚 登

れる一因になっているような気がします。

組織も同じ状態が長く続くと、徐々に活性度が下がると思われます。組織の改組転換は大変な仕事ですが、組織の活性度を保つためには必要不可欠なことと存じます。改めて理系4学部体制に関するご理解ご支援をお願いいたします。

法政大学経営者懇談会

Hosei University President Club

会長 鈴木 公夫(電気1959年卒)

- 入会金: 100,000円 ●年会費: 50,000円
- 法政大学卒業生の企業経営者の集まりです。

- 入会歓迎: 入会ご希望の方には案内書をお送りします。事務局までご連絡下さい。

事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3

法政大学九段校舎4階 法政大学 校友連合会内
 TEL: 03-3264-1831 FAX: 03-3264-4770



第12回 法友会工体連OB会ゴルフ大会

～今年も大激戦の末、

1 打差でスキー部が優勝 空手部惜敗～

第12回法友会工体連OB会親睦ゴルフ大会(埼玉・飯能くすの樹カントリー倶楽部＝6237ヤード、パー72)が盛大に行われました。大会前日に台風9号が東日本を縦断し、天候とコースコンディションが心配されましたが、大会当日は正に台風一過のゴルフ日和となりました。

本大会では、団体戦と個人戦が行われます。優勝への鍵は飯能くすの樹カントリー倶楽部の戦略性の高いコースを如何に攻略するかにあります。大きく微妙なアンジュレーションを有するグリーンを読みきること、さらに、地形を巧みに利用したインコースで耐え忍

ぶことが、スコアメイクの鍵となります。さあ、今年はどの団体に「飯能の女神」が微笑んだのでしょうか??

団体戦は、最多優勝回数を誇るスキー部、昨年優勝し連覇を狙う柔道部、優勝経験のある空手部の3強による壮絶な争いとなりました。アウトコースを終えて首位に立ったのは、安定したゴルフをみせた空手部。柔道部は3打差の2位と好位置キープ。さらに、スキー部、陸上競技部という展開となりました。

問題の難しいインコースに入り、スコアメイクに苦しむ空手部に対して、我慢のゴルフをみせたスキー部が猛チャージ!! 7打差をひっくり返しての大逆

転勝利。スキー部が7度目の団体優勝となる結果となりました。スキー部の皆さん、優勝おめでとうございます。

さて、個人戦で優勝したのは、柔道部の大竹先輩。何でも2度目の優勝とのこと。昨年優勝した吉本先輩も2連覇しており、柔道部は個人戦に強い印象を受けます。ある意味「飯

能の女神」に一番見守られているのは柔道部ではないでしょうか。

今年も何とか無事にゴルフ大会を終えることができました。ご協力頂きました皆様に紙面を借りまして厚く御礼を申し上げます。また来年も宜しくお願い致します。

(文責 ゴルフ担当 田巻嘉彦)



団体優勝
スキー部OB会

個人優勝 大竹氏(柔道)



団体成績

団体成績		TOTAL
優勝	スキー部	250(北原81、大西83、二宮86)
準優勝	空手部	251(岩下79、永友82、米満90)
第3位	柔道部	256(福井83、久保85、青沢88、吉本88)

個人成績

	優 勝	大竹	信誠	柔 道	GRS	HDC	NET
優 勝	大竹	永友	孝昭	道上	91	19.2	71.8
準優勝	永友	青沢	俊昭	上道	82	9.6	72.4
第3位	青沢	砂川	正一	道	88	15.6	72.4
第4位	砂川	福井		上	84	10.8	73.2
第5位	福井	島貴		道	83	9.6	73.4
B G				ゴルフ	76		



スキー部 新会長紹介

スキー部OB会では「OB会長は毎年交代する」体制をとっており、本年度のOB会長を務めさせて頂く1986年卒業の岸野政利です。本制度は、これまでOB会活動の基盤を

作られた先輩方から毎年次の代にOB会運営を引き継ぎ、私を含めて、暫くOB会から離れていた若い世代がOB会に参加するきっかけを作り、会の活性化に繋がっています。

スキー部はもうすぐ創部50周年を迎え、2009年には

記念事業の開催を計画していますが、今年度の主要な活動は、その準備を始めることです。8月には、小金井キャンパスに残っていたスキー部の戦績を記録するトロフィー類や毎年の部活動を残した写真アルバム等をOB会で引き取り、50周年の節目に整理記録する作業を始めました。

50周年分の量は相当で、継続して作業を進めて行きますが、OBにとってはどれも懐かしい品々であり、作業中も昔話に花が咲いたり、つい見入ったりして、楽しく作業を進めています。その他OB会員相互そして現役との交流、そして工体連OB会活動への

2009年には50周年!!



平成19年度スキー部OB会会長

岸 野 政 利

('86 機械工学卒)

参画などを進めて参ります。今後とも工体連OB会ならびに各部OB会のご支援をよろしくお願い致します。



法政大学工体連バレー部OB会

バレー部の
ますますの
活躍を祈る!!

OB会でお会いしましょう

OB会会長 曾根原一雄 (78建)

OB会理事 古里 一文 (88経)

山田 誉 (91電)

監 督 南澤 一 (95電)

一さらば道場、ありがとう道場一

●道場よ、ありがとう!! 剣道部 菊池 貢一(69卒 工体連OB会会長)



別れを惜しむ菊池会長

小金井地区再開発計画に伴い、ついに思い出深い「道場」が解体されたとの事。昭和43年の竣工以来数えて40年の齢でその役割を終じた。

教室棟屋上のスノコ敷きの青空稽古場から、夢の様な屋内の道場の完成は、当時の部員は歓喜の声・声。合わせる様に部員数の増加と活動・活性化の母体となった。

竣工記念に実施された、法大一部・二部体育会剣道部のOB・現役と我が工体連のOB・部員との祝賀稽古会は、緊張した気合と喧騒が昨日の事の様である。

又、当時のスポ根モノが流行っていたかと記憶するが、確か「吉永小百合」主

演の剣道モノの稽古風景のロケに当道場を使用したとの申入れがあったとかで、部員一同「興奮!」、稽古相手は「俺だ! お前だ!」と色めきたった思い出、、、結果は確か日大の道場になったとかで一同、消沈。

辛くも楽しい稽古の場とも区切りを、と平成18年の定例のOB・現役稽古会の開催を二部体育会剣道部との定期戦(新丸山拝争奪戦)を同日に実施。本道場での最後の公式行事となったが、参加のOB諸

氏は最後の道場の感触を味わった。

最後に、本道場の建築に取分け多大なご尽力を頂いた、故・大江宏先生、故・平塚照夫先生そして、益々ご健在、現役の尾上護先生に感謝・感謝



最後のOB・現役稽古会にて

●小金井道場の思い出 空手部 竹重 高志(80卒)

新入部員としての稽古の始まりは道場の雑巾掛けからでした。それから私の空手部での4年間の始まり、同時に小金井道場との付き合いが始まりました。

今、昭和43年に完成した道場が40年という長い歴史を閉じようとしていま



す。この場所は大学時代に武道に励んだ者にとって、学業以外に多くを学んだ場所です。

道場は神聖な場所であり、そこは常に礼儀を重んじる場所でもあります。その場所で稽古に励むことにより、技術の向上だけでなく、礼節を学び、精神の鍛錬をし、人として身につけてはならないことを数多く学ぶことが出来る場所でもありました。

私にとってもこの道場には忘れ難い多くの思い出があります。入部当初は

OBの先輩が数多く現れる土曜日が苦痛でした。気の抜けた稽古に先輩から“うさぎ跳び”と言われ、延々と道場の周りを跳び続けた厳しい稽古、気合不足を理由に稽古後に受けた「ヤキ入れ」などの苦しかった事、また、この道場で開催された三多摩大会で優勝出来たのも厳しい稽古の成果でした。

稽古以外でも思い出があります。学祭の時、武道仲間と飲み明かした事、先輩から不条理な仕打ちを受け、仲間と共に涙した事、



工体連限定で。〇〇ショーが開かれたこともありました。

喜怒哀楽の思い出がいっぱいの道場が本当になくなってしまふのです。残念でなりません。小金井道場に心から感謝したいと思います。ありがとう。

●道場の思い出 柔道部 佐藤 光男(77卒)

我々(S54年卒)の時はすでに道場はありましたが、写真に写っている先輩たちの頃はまだ道場もなく、校舎の屋上(コンクリートの上)にたたみを敷いて練習



したそうです。脳シントを起こしたり、肩を脱臼したり、大変だったようです。

武道系は昔から夏は暑中稽古、冬は寒稽古と称して暑さ寒さと戦ってました。

青い大きな空にもくもくと上がる入道雲を見ながら、今日も練習かよと思いました。でも練習が終わった後、立って続けに飲んだ生ビールの味が忘れられない。

法政大学校歌 三番 (工体連編)

若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて

ああ愛する母校
入道雲に 青空高く
一心不乱に 梶野町

いきおいつけて

飲もう会
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

最初の2節と最後の2節、これは変えられないね。中の3節だけを変えてみました。



～都市の中に街をつくる～ 戸建分譲住宅の企画・設計

有限会社 旦建築計画

代表取締役 一級建築士 竹重高志 (1981 建築卒 空手部)

東京都八王子市東浅川町 288-8 〒193-0834
TEL 042-668-8965 FAX 042-668-8966



各部OB会通信

●昭和44年卒空手部同期会（還暦を祝う!!）

去る3月10日(土)熱海のホテル池田において同期会(この同期会は2年毎に開催しており、38年間も継続しています)を開催しましたが、今年は3月3日をもって、誰一人欠けることなく全員が無事に還暦を迎えることができ、そのお祝いも兼ねて行うこととなりました。

同期は12名ですが、残念ながら仕事の都合で3名が欠席となりましたが、5回目から毎回参加してくれる剣道部OBで同期の田畑君を含め、10名の参加となりました。

宴会は、還暦の祝杯から始まり、見た目は万年青年から年寄りと千差万別ではあるが、気持ちは全員学生時代と変わらず若く、近況報告・自慢話や

懐かしい昔話にと大いに盛り上がった楽しい宴を過ごすことができ、最後に同期会の継続と全員の健康を祈念して三本締めで終了しました。

その後、誰とはなしにカラオケが歌いたいと言いだし、ホテルのクラブで夜遅くまで二次会を年齢も忘れて、はしゃぎまわりました。

翌朝は、前夜あれだけ飲んで歌いまくった割には朝からビールを飲み、ご飯もおかわりするなど、還暦だと思えないパワーのすごさを発揮し、これも学生時代に武道で身体と精神を鍛えたおかげと感謝しながら、次回の同期会での再会を楽しみに解散しました。

(文責 坂本(佐々木)洋)



後列左から 米満 富永 加納 野沢 智野
前列左から 田畑 坂本 市野 稲井 宮崎

●飲もう会 in シンガポール

去る、6月2日(土)～4日(月)にシンガポールにて、飲もう会が開催されました。

この核となっているメンバーは、1966年(昭和41年)入学・工体連入部した者達が、4学年時に高尾の猪豚料理で杯を交わし、卒業10年後の工体連OB創設総会で再会し、懐かしの猪豚料理店で飲み明かし、「今後も集まろう」となり、以後隔年各地泊まりで集まり、飲み語っている会です。

現在では、先輩・後輩も、また家族同伴で、年齢層も広がってきました。

今回の会場シンガポールは、飲もう会会長・桑折の在住地ならびに会社の拠点であり、我々メンバーも60歳還暦と

いう事で、初の海外開催・還暦旅行となりました。

先発組・後残組もあり、現地集合形態となりました。

1日目の夜は、ドラゴンシティの中華料理店での前夜祭。

2日目は、貸切バスで市内観光、リパーククルーズ、昼食は曲芸茶坊主で有名な四川豆花、セントーサ島へ渡り、見学後、ゴルフクラブハウスにて、すし職人に出張してもらい大宴会。

3日目は、ゴルフ組、マレー観光・買い物組と分かれて楽しみ、夜はロングビーチの海鮮料理で飲食、校歌斉唱の後、空路帰国。来年は、曽根副会長の段取りで、仙台開催となります。

(文責 小畑修孝・陸上)



左：大宴会



右：セントーサ島

07 工学部ホームカミングデー開催

日時：2007年11月3日(土)(小金井祭は2日～4日)

場所：小金井キャンパス

内容：13:00～ 講演会 於：マルチメディアホール

1.「工学部の現状について」大澤 泰明工学部長

2.「生命科学の先端と法政大学での展開」

石浜 明生命機能学科教授

15:00～ 小金井祭見学・キャンパス巡り

16:00～ 懇親会 於：マルチユースホール(会費：6000円)

主催：法政大学工学部同窓会 共催：法政大学工学部

後援：法政大学工体連OB会・法政大学経営者懇談会

「第11回工体連OBの集い」を同時開催



第39回関東理工系陸上競技大会(9月8、9日・鴻巣) 対抗戦第三位

来年は優勝します!!
応援宜しくお願いします

工体連陸上競技部



夏季合宿(8月15～19日・菅平)